

たっちゃん通信

発行 北川かっぱの会

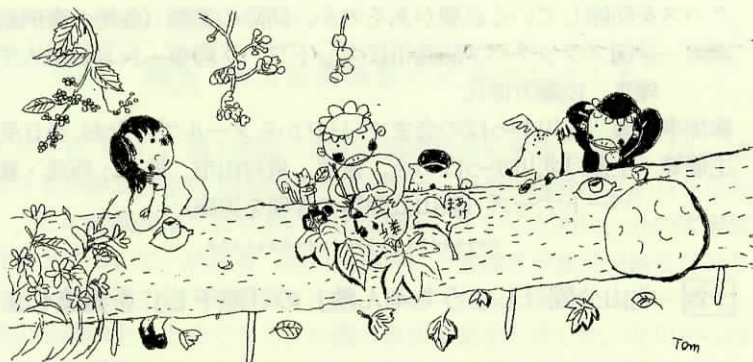
<http://homepage3.nifty.com/kitagawakappanokai/>
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

2010年2月13日

Vol. 82

梅の香りだ
春が来た
号

北川かっぱの会総会にご出席ください 2月20日(土)



予告 ブラックバス防除セミナーを開催します

ここ数年、狭山公園内の「たっちゃん池」や北山公園内「しょうちゃん池」でブラックバス（オオクチバス）が大繁殖しています。ブラックバスは、北川流域でもともと生息していたモツゴ（クチボソ）やトウヨシノボリ、オイカワ、フナなどの在来種を食い尽くします。たっちゃん池やしょうちゃん池では、ブラックバスが既にこれらの在来種を食い尽くしつつあり、死の池になりつつあります！

このセミナーでは、北川流域でもともと生息していた在来種の棲む流域に取り戻していくために、どのようにブラックバスを防除（駆除＋密放流防止）していくのか、講師の先生の話聞きながら、最適な防除策を探ります。

北川流域に清流の復活を！！

「ブラックバス防除セミナー」ご案内

- 日時 3月6日(土) 13:30~15:00
(会場は13:10オープン)
- 場所 東村山市市民ステーション「サンパルネ」2階会議室(東村山駅西口 ペDESTリアンデッキ徒歩1分)
- 参加費 無料
- 内容 1. たっちちゃん池としょうちゃん池の現状報告 2. なぜブラックバスを防除していく必要があるのか、防除の実際(各地の事例紹介)
- 講師 全国ブラックバス防除市民ネットワーク理事・NPO法人生態工房理事 佐藤方博氏
- 参加申込等 北川かつぱの会まで(HPからメールで)。なお、当日受付可。
- 主催等 主催は北川かつぱの会。後援; 東村山市、協力; 西武・狭山丘陵パートナーズ(狭山公園等の管理を実施)

+++++

予告 北山公園「しょうちゃん池」の「池干し」を実施します

3月20日(土) 9:00より、ブラックバスが繁殖している北山公園「しょうちゃん池」の「池干し(掻い掘り)」を実施します(小雨決行、大雨の場合には翌日に順延; かつぱブログに掲載)。2月6日の川端会議で市より提案・説明があり、かつぱの会として「しょうちゃん池」の池干しを全面的にバックアップしていくこととしました。池の水を抜き、手網で生物を捕獲し、在来魚とバスや外来種のカメ類を選別します。バケツ、胴長(なければ長靴)をご持参ください。



市内には、八国山緑地をはじめとして、まだ多くの雑木林（里山）が残っています。

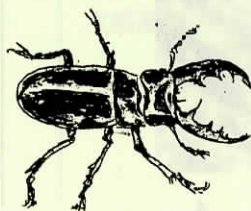
今はまだ寒い季節ですが、盛夏ともなれば以外や以外！多くのクワガタ虫が棲んでいます。クヌギ、コナラの樹液（木から出る甘い蜜）に集まる彼らのことに少しふれてみましょう。

私がこの近辺で確認した種類は、コクワガタ、ノコギリクワガタ、ヒラタクワガタスジクワガタの4種類です。この4種類のなかでノコギリクワガタ以外は夏が終わっても木の洞や倒木の中で成虫のまま冬越しが出来ます。中でも、コクワガタとヒラタクワガタは2~3年も生きる個体があります。初夏に見つけられるものの中にはこれらの固体が混ざっています。その証拠に一昨年近所の雑木林で見つけた大アゴの欠けた特徴のあるヒラタクワガタを、その翌年の初夏に全く同じ木で捕まえたことがあります。その時はあまりにも愛しくて、思わず笑ってしまいました。あの寒い冬をひっそりと乗り切ったのですね！

これらの4種類のクワガタは、オスメスのつがいで飼育すれば以外に簡単に自宅で繁殖が出来ます。やや手間はかかりますが、一つのペアーから10~20匹程度の幼虫を得ることが出来ます。私の自宅でも今東村山産のクワガタ達の幼虫が夏を待っています。少し増えたら、またそつともとの場所に戻してあげましょうか。

また、雑木林の中の切り株や朽木の中には、クワガタの幼虫たちが棲んでいます。私は出来るだけそれらの幼虫の採取はしません。幼虫の乱獲をすると固体が激減することも有り得るからです。できれば雑木林もそこに棲むクワガタ達も減って欲しくはありませんね。

繁殖のさせ方や飼育方法は、クワガタの種類によって特徴があります。その辺の詳しい内容はまた次の機会に記事にしましょう。（中谷）



☆ 12月12日 空堀川野鳥観察会

小春日和の暖かい中、かつぱの会が協力して南台&富士見小土曜講座で水辺の鳥を観察しました。キセキレイ・コガモやコサギなど水辺の鳥たちはしっかり姿を見せてくれました。しかし、なぜかハクセキレイがほとんど見られません。出発前に「今日は東村山の鳥＊ハクセキレイ＊だけは絶対に覚えよう！」と言っていたのにです。いつもどこでも見られるくせに……。でも、みんな楽しんでくれたので良しとしましょう。

☆ 12月19日 北山公園・八国山野鳥観察会

2週連続の土曜講座でした。この日は主に林の鳥の観察です。着いてすぐ、しょうちゃん池でここでは珍しいマガモを観察しました。オスの緑の頭が陽光に輝ききれいでした。八国山にさしかかるとタカ的一种ノスリを子どもが見つけた。みんなでフィールドスコープでアップで見ることができ、野生のタカの鋭い口ばしやまなざしに子どもたちも興奮でした。林の中はあまり鳥は見られませんでした。最後は「八国山たいけんの里」で弓矢体験で盛り上がりました。

(ビー永島)

ノスリ



<12月>

隣接する北山公園そしてその背後の八国山は紅葉のピークを迎え、とても綺麗な景観を創り出しています。北川に目を転じれば、水面に頭を出した石や緩やかな流れで滞留した落ち葉が、こちらも北川に綺麗な彩りと変化を創り出しています。

雨上がりの北川は水量が多く川底にも小石や砂地が現れ清流そのものです。溪流ゾーンでは、速い流れが水飛沫を上げ心地よい水音を立てています。又、耳を澄ますと、挟まれた土手の天井部分から滴り落ちる水滴も心地よい響となって聞こえてきます。そして、垂直に延びた土手に目をやれば、丸石、砂礫、土と幾重にも変化した地層に悠久の年代を感じとても不思議です。

今日は、12月とは思えないような陽気の中、ゴミも少なくゆったりと川ウォークができ大満足でした。深くて流れの緩やかな川底には落ち葉が沢山沈んでいます。きっとこの中で小魚がじっと春を待っているのでしょう。それでも、今月も大関橋付近には沢山の小魚がいました。大喜！

(松村)

<1月>

例年1月は年12回の川掃除で気候的に最も厳しい月です。今年は、昨夜降った雪が日陰にまだうっすらと残っている中でスタートになりました。川に入ると水の冷たさがゴム長を通して足や腿に伝わってきました。更に時間が経つに連れ軍手をはめた手も次第に冷たくなってきました。水が冷たいので泳ぎ回る小魚は殆どいません。そんな中、シラカシの根元の深みでオカリを一匹見つけました。冷たい水の為か動きに精彩が無くのろのろとした感じがでしたが…。

今日はタバコの箱と吸殻が大量に散乱していました。又、この数年は少なかった

ティッシュペーパーに包まれた犬の糞も随所に投げ捨ててありました。川にも生きものがい

る事を認識できないのでしょうか。目を開けて北川をしっかりと見てください！

コンクリ護岸に挿してあげた小枝にカワセミが止まり、白いペンキのような糞が多く的小枝の下に付いていましたそして、今日はその鮮やかなコバルトブルーの姿を私たちに三度も披露してくれました。大感激！

(松村)

予告

北川かつぱの会の総会を開催

2月20日(土) 14時から廻田公民館で総会を開催します。

09年度の活動報告案、10年度の活動方針案、09年度決算案、10年度予算案、10年度の執行体制などについて決定していきます。当面の重点課題としては、

①流域のブラックバス防除対策(掻い掘り等)、②環境学習の内容を充実(備品の購入、学習内容の充実等)させ次世代の育成を図ること③継続して環境調査を実施し流域の環境保全を推進していくことを提案したいと考えています。これら①～③の課題を解決していくために④流域のみどりの保全と北川の水量確保(川端会議や狭山三公園懇談会への参加等)、⑤情報発信力の強化(環境情報版の設置や「北川流域の環境を守ろう」ネームプレート、夏まつり告知用垂れ幕の作製等)、⑥関係団体との交流、連携の強化を図り、併せて⑦財務体質の改善を提案したいと考えています。当日は多数の方の参加をお待ちしております。総会終了後、「MARU茫々亭」で懇親会も予定しております。

「第5回外来魚情報交換会」に

参加しました

北川かつぱの会から1月30日(土)～31日(日)、滋賀県彦根市で開催された「第5回外来魚情報交換会(主催;琵琶湖を守る会、他)」に北川かつぱの会からSiが参加してきました(西武・狭山丘陵パートナーズからもNaさんが参加)。北は北海道から南は沖縄まで、昼間は100名を超える参加者が、また夜の懇親会も約60名の参加者が、熱い議論、情報交換を行いました。バス類の駆除方法(の試行錯誤の状況)やバス類の生態の解明、新たな外来魚(チャネルキャットフィッシュやオオタナゴ等)との戦い、行政の対応策、市民団体の対応策、バス加工食品(今年は練り物)の試食など、今年もとても盛りだくさんの内容だったと思います。

北川かつぱの会としては、今年の大きな目標の一つとして考えている2つの池の「掻い掘り」を中心としたバス防除策を円滑に進めていくため、主に情報収集のために参加しましたが、得たものはとても多かったと感じています。

(詳細はかつぱの会ホームページで)

——2010年度 2月～3月		活動スケジュール——
東村山市みどりの楽校「野鳥観察会」		北川かつぱの会総会
2月14日(日)	主催東村山市みどりの楽校	2月20日(土) 詳細本誌2P
八国山緑地懇談会		ブラックバス防除セミナー
2月21日(日) 10:00～16:30		3月6日(土) 詳細本誌2P
八国山緑地西入口広場集合		ブラックバス駆除
午前中 八国山緑地見学		3月20日(土) 詳細本誌2P
午後 意見交換会(多摩湖ふれあいセンター)		定期川掃除
主催 西武・狭山丘陵パートナーズ		3月13日(土) 9:00～11:00
		4月10日(土) 9:00～11:00

報告 狭山公園懇談会に参加しました

1月9日(土)、第1回都立狭山公園懇談会に参加しました(かつぱの会からは3名が参加。全体では各団体や自治会、都や主催者などから30名強が参加)。この懇談会は、よりよい狭山公園としていくために、その管理運営のあり方などについて、利用者(利用団体等)と管理者が意見交換を行おうとするものです(設置主体;東京都、主催;西武・狭山丘陵パートナーズ)。午前中は狭山公園内をひとめぐりし、公園の現状を見学しました。北川かつぱの会がかねてより提案している「たっちゃん池」のブラックバス対策や狭山公園内北川の親水化(自然護岸化)についても説明を行いました。また、たっちゃん池周辺部の湧水地の復元等についても意見交換が行われました。午後は会場を多摩湖ふれあいセンターに移し、各団体の活動や狭山公園の管理運営状況についての報告や意見交換などが行われました。特に意見交換(ワークショップ形式)では、狭山公園に対する夢を語り、そしてその夢を参加者全員で共有していくことができた点がとてもよい企画だったと思います。今回の現地見学や意見交換会の雰囲気から考えれば、「たっちゃん池」のブラックバス対策については、さらに推進(掻い堀りを実施すべき)し、狭山公園内北川の親水化(自然護岸化)については、今後この懇談会の中で継続して検討していく、という方向性かな、と感じました。北川かつぱの会としては、会単独では解決することのできない問題に対応していくため、今後も懇談会に積極的に参加していこうと考えております。

インフォメーション

☆会費納入のお願い

かっぱ通信の印刷、郵送費(会員の他、マスコミや環境関係の識者、他の環境団体への周知経費を含む)など経常的な経費は、会費を基に活動を行なっています(助成金や寄付金は備品の購入などを中心に支出)。最低限の活動を行なっていくためにも、年末までに会費(年間3000円)の振込を切にお願いいたします。今回、09年度の会費未納付の方には「振込用紙」を送付させていただいております(既に振込済の方にも振込用紙を送付している可能性があります。悪しからずご了解ください)。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

北川かっぱの会 会議日程

定例会 4月3日(土)

14:00~16:00頃 (MARU 茫々亭)

4月、5月の活動について話し

合います。

●編集後記

前2号の編集ピンチヒッター岡田さんにレギュラー定着をして欲しかったのですが、引退は早いぞということなのではいでしょうか。(渡辺)

発行 北川かっぱの会 東村山市野口町 TEL 042-395-7705 渡辺

かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集しております。●会費 年間3000円。「かっぱ通信」(年5回)をお送りします。

●問い合わせ・申込み先

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

●会費振込先

上記へ現金書留または

〔郵便振替 00120-6-104476〕

〔りそな銀行東村山支店(普)

3605694〕

加入者名 北川かっぱの会

かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いてあります。

『未来の川へ・北川復元プラン』

北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価1000円 送料390円

『北川流域マップー未来の川へ』

北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面版 頒価200円

本誌についての問い合わせ先

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>